いじめ事案の指導の流れ

岐阜市立東長良中学校

さ　最悪を想定して
し　慎重に
す　素早く
せ　誠意をもって
そ　組織的に対応する

いじめの疑いのある情報

寄り添う

【定期的な情報収集】
- 生徒と学級担任との対話（常時），二者懇談（随時）
- 「ＨＥＲＯ宣言」の振り返り（随時）
- 三者懇談（年２回）
- 希望制二者または三者懇談（年１回）
- 長期休業中の生徒・保護者との連絡
- ここタンの活用
- 学校生活アンケート（年６回）
- 情報提供アンケート（年３回）
  ⇒いじめ防止等対策推進会議（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　各３回）
- 学校評価（年２回）

【迅速な情報収集】
- 教師の目撃　　※「生徒に付く」教師の構え
- 本人からの訴え　※話しやすい環境づくり
- 保護者や地域からの訴え
- いじめＳＯＳボックスの設置　等

発見

生徒

情報をつかんだ職員

保護者・ＰＴＡ
地域の方々

学年主任

教科担任

学級担任

生徒指導主事

複数の職員へ
報告・相談・共有

複数の経路で
校長・教頭に報告

教職員・保護者・ＰＴＡ
ＳＣ・地域の方々

校長・教頭・対策監

共有

情報共有 100%

情報共有

いじめ対策チーム（組織的対応）

情報を知っている生徒等
から聞き取り

被害生徒が所属する集団の
より多くの生徒からの聞き取り

校長・教頭・対策監

集約･事実認定

学校安全支援課、警察、スクールロイヤー等

最優先で対応
※授業を自習とする場合あり
※複数人（２名以上）のチームでの聞き取り（対応する職員が足りない場合、別室で生徒を待機させることもある（職員配置）

事実確認

徹底

いじめ対策チーム（組織的対応）

辛さや不安に寄り添う

被害生徒から
共感的で丁寧な聞き取り

保護者へ連絡

関係（加害）生徒・関係者から
丁寧な聞き取り

共有

すり合わせ

すり合わせ

校長・教頭・対策監

事実確認･全容把握

市教委（文書報告）、警察、スクールロイヤー等

個別の加害状況に応じて指導内容は変わるが、意識に迫る支援・指導をする（「行為」のみで終えない）

支援・指導

いじめ対策チーム（組織的対応）

心に寄り添う声かけ

被害生徒への支援等

関係（加害）生徒への指導

校長・教頭・対策監

被害生徒保護者へ連絡

関係（加害）生徒保護者へ連絡

生き方に
関わる支援・指導

共有

連絡
100%

電話で概要説明
家庭訪問で指導の経緯を説明
今後の指導方針の相談

電話で概要説明と来校依頼
学校で指導の経緯を説明
今後の指導方針の相談

保護者の困り感に
寄り添う支援・指導

被害生徒の希望

被害生徒保護者の希望

発覚した日のうちに、ここまでの指導を基本とする。

「謝罪の会」等の設定

支援・指導の報告

学校安全支援課、警察、スクールロイヤー等

見届けの徹底

①継続的・定期的な市教委への報告や関係機関との連携
②指導記録の保管（職員室で一括して保管）

いじめ対策チーム（組織的対応）

- 本人への聞き取り
- 周りの子どもへの聞き取り
- 保護者への情報提供と聞き取り

被害生徒への継続的・組織的支援

関係（加害）生徒への継続的・組織的指導

- 本人への聞き取り
- 周りの子どもへの聞き取り
- 保護者への情報提供と聞き取り

①校長、教頭、*対策監*、担任、学年主任、生徒指導主事等による見届けの継続と繰り返し
②指導記録の保管（在籍中は職員室で一括して保管）
③いじめ防止等対策推進会議での報告・協議、PTA 役員会・学校運営協議会での報告

次年度への
引継